バックアップとリストア(復元)「共同編集あり」

TREND-ONE の「現場データ」と「全設定」を、バックアップする手順を解説します。 またバックアップした「現場データ」と「全設定」を、リストア(復元)する手順も解説します。

注意 本書は「サーバークライアント(共同編集あり)」でご利用中の TREND-ONE 用の解説です 現在 TREND-ONE を何でご利用中かは、「現場管理」を起動して確認することができます。

「現場管理(共同編集あり)」と表示されている場合は本書の手順で、バックアップとリストア(復元)を行います。



「現場管理(スタンドアロン)」または「現場管理(共同編集なし)」 と表示されている場合は

別資料の

1

- バックアップとリストア (復元) 「スタンドアロン」
- ●バックアップとリストア(復元)「共同編集なし」 を参照して下さい。



注意 バックアップはこまめに行ってください

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。

万が一の不慮の事故による被害を最小限に止めるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別メディア(別HDD、DVDなど)にバックアップとして保存してください。また、いかなる事由においても、お客様の損害は弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

注意 バックアップは現場管理以外のすべての TREND-ONE のプログラムを終了してから 行ってください。

作業中の現場データをバックアップすることはできません。 また現場管理の [ファイル] – [オプション] の [バックアップ] タブで、現場の設定やバックアップとリストア(復元)時の一時 ファイルを作成する作業フォルダーを設定します。(右図) 作成される一時ファイルは非常に容量が大きくなる可能性が あるため、作業フォルダーには十分な空き容量が必要となります。 空き容量が十分なフォルダーを指定してください。

†プション (サーバーデータベース)	?	\times
現場の情報 データ保存場所 データ更新間隔 バックアップ データベース その他		
バックアップ時の作業フォルダー設定		
作業フォルダー(E)	参照(<u>B</u>)	
バックアップ・リストア処理中に使用する、作業フォルターを指定します。 空き容量が充分なドライブを指定して下さい。		
バックアップ時の同一ドライブチェック設定		
✓ バックアップ元とバックアップ先の同一ドライブのチェックを行う(C)		
履歴ファイル		
✓ データ保存時に履歴を残す(H) ✓ 前日のデータを履歴として残す(<u>D)</u>	
履歴の数(≥): 1 (個		
※現場共有の場合は、一人目のユーザーが現場を開いたタイミングで履歴を保持し	ます。	

1-1 現場データをバックアップする

現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

まず、いずれかのクライアント PC1台で、「サーバー現場のバックアップ」を行います

サーバーに保存されている現場データをバックアップします。すべてのクライアントPCで行う必要はありません。



 び バックアップ先のフォルダーとバックアップ対象現場を
 確認して [はい] をクリックします。
 バックアップが開始されます。



 ・バックアップが終了したら、[OK]をクリックします。
 「サーバー現場」の現場データのバックアップは完了
 です。
 ・

次にすべてのクライアント PC で、「ローカル現場のバックアップ」を行います

各クライアントPCに保存されている現場データをバックアップします。

● 現場管理の [ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。







③ バックアップする工区のチェックをオンにします。

4 バックアップする現場のチェックをオンにします。

⑤ バックアップ先のフォルダーを入力します。

⑥ [バックアップ] をクリックします。

バックアップ先のフォルダー、バックアップ対象現場、 バックアップファイルの容量を確認して[はい]を クリックします。

バックアップが開始されます。



びックアップが終了したら、[OK] をクリックします。
 同様の手順で、すべてのクライアント PC で「ローカル現場」の現場データをバックアップします。

以上で現場データのバックアップは完了です。

1-2 全設定をバックアップする

全設定をバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

すべてのクライアント PC で、「全設定のバックアップ」を行います

各クライアントPCのレジストリをバックアップするため、全設定のバックアップはすべてのクライアントPCで行う必要があります。

💊 編集

📑 複写

書込 読込

現場作成 開く

W

メンテナンス

▶ 編集 • □ 現場の情報

複写

★削除

- 現場管理の [ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。
- 2 [書込] タブー [バックアップ] グループー [全設定] をクリックします。



ヘルプ・FAQ検索

🗆 作業データ

ロリンク

→現場の抽出表示

現場管理(共同編集あり) - [平成30年度]

🚃 ローカル 現場

🔤 両現場

3 バックアップされる条件を確認して [次へ] を クリックします。

条件	参照先	
条件設定 アカリケーション条件設定 CAD開進 TDJット条件 経線・縦横断関連 各階平面回診 制量上式結構 制量上式結構 別してオーマット プロットマーク 構造物準に下面 シンボル 方位マーク 行3メトリック SXF属性セット コーカル設定 CAD関連(ローカル)	<pre>#TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Systerm #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥CadTerm #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥CadTerm #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥CadTerm #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Lager #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Lager #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Lager #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥SiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FiryDic #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥DidMark #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Symbol #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Symbol #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥Symbol #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥StrCalc C:¥FCAPP¥TREND-ONE¥TermFiles¥LocalCadTerm #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥DMMark #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥DMMark #TREND-ONE_Server¥TermFiles¥DMMark</pre>	

④ バックアップ先のフォルダーを入力します。

6 [次へ]をクリックします。



6 [実行] をクリックします。

- ⑦ バックアップ先のフォルダー、バックアップファイルの 容量を確認して [はい] をクリックします。 バックアップが開始されます。
- ⑧ バックアップが終了したら、[OK]をクリックします。
- 全設定のバックアップ \times () バックアップ元 ∉TONEBackupTen など バックアップ先 F:¥ はい(Y) バックアップファイルは、約 1.13 MBvteです。 処理を続行しますか? いいえ(<u>N</u>) 現場管理 全設定のバックアップを終了しました。 (i) 8 ОК 全設定のバックアップ ? × 条件設定 アプリケーション条件設定 CAD関連 座標:地番関連 プロット条件 路線:縦横断関連 各階平面図建物部品 中請書辞書 測量土木辞書 기リーフォーマット プロットマーク 構造物コード表 構断概集断面 シンポル [実行] ボタンで全設定のバックアップを開始します。 バックアップ先 F:¥

 街町標準町回
 シンボル
 方位マーク
 パラメトリック
 SXF属性セット
 ローカル設定
 構造物数量マスター

 「毎這初致量マ人ター CAD関連(ローカル)
 DM記号
 DMマスター
 建物野帳
 レジストリ

100 %

実行

戻る(B)

9

閉じる

- 同様の手順で、すべてのクライアント PC で全設定 をバックアップします。
- 以上で全設定のバックアップは完了です。

9 [閉じる] をクリックします。

1-3 バックアップした現場データをリストア(復元)する

バックアップした現場データをリストア(復元)する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

まず、いずれかのクライアント PC1台で、「サーバー現場のリストア(復元)」を行います

バックアップしたサーバー現場をサーバーにリストア(復元)します。すべてのクライアントPCで行う必要はありません。

1 ● 現場管理の「ホーム」タブー「表示モード] 現場管理(共同編集あり) - [平成30年度] グループー [サーバー現場] をクリックします。 読込 書込 ヘルプ・FAQ検索 ファイル ホーム ੑੑ◆編集、 W し現場の抽出表示 複写 🚬 複写 □ 作業データ - サーバー 現場 工区作成 現場作成 闘(ご箱 🛼 削除 🖌 削除 ロリンク 志和+B TΣ 現場 パネル 5 検索 表示モード 現場名 起動モード 最終更新日 エ区:サーバー現場 2018/06/11 🔺 🔜 すべての工区 (2) サンプル測量設計データ 現場占有 10:41:50 🔤 未分類 (0) 2018/06/11 現場占有 平成30年度 (2) 10:42:27 2 現場管理(共同編集あり) - [平成30年度 2 [読込] タブー [リストア] グループー 書込 ファイル 木 読込 ヘルプ・FAO検索 [現場] をクリックします。 🔒 各種データ 2 🖉 📰 院 設定 -BTV BTV BTVデータ 登録済みBTVデータ ・ の一括コンバート 全設定 現場 リストア 登録 現場名 起動モード 晶終更新日 工区:サーバー現場 2018/06/11 4 🔜 すべての工区 (2) サンプル測量設計データ 現場占有 10:41:50 ≦ 未分類 (0) 2018/06/11 サンプル現場_分筆 現場占有 平成30年度 (2) 10:42:27 現場のリストア(3-現場) 3 サーバー現場のバックアップファイルが保存されて ? Х リストア元(B) いるフォルダーを指定します。 F:¥ 参照(<u>R</u>). リストア対象現場(G) | 工事番号 | バックアップ日 VerNo 履歴 リストア対象 現場名 エ区名 ④ リストア(復元)する現場のチェックをオンにし ✓ サンプル測量設計テ
 ✓ サンプル現場_分筆 平成30年度 2018/06/11 11... TREND.. ます。 ⑤「リストア開始〕をクリックします。

 全選択(A)

全解除(<u>K</u>)

現場詳細(I)... 履歴の選択(H)...

キャンヤル

5

リストア開始

⑤ リストア(復元)する現場データを確認して [はい]をクリックします。



- 「リストア(復元)が終了したら、[OK]を クリックします。
 - 以上でサーバー現場の現場データのリストア (復元)は完了です。

次に各クライアント PC で、「ローカル現場」をリストア(復元)します

バックアップしたローカル現場を各クライアントPCにリストア(復元)します。

● 現場管理の [ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。

♀ ↓ ファイル ホーム 読込	書込 メン テ ナンス G) ヘルプ・FAQ検索	現場管理(共同編集	あり) - [平成30年度]
▲ ● 編集 ● 一 復写 工区作成 ● 削除	現場作成 開く 業 業 業 業 場集 ・ 複写 、 、 削除	 □ 現場の情報 □ 作業データ □ リンク 	現場の抽出表示	
IZ	現場	パネル 🕞	検索	表示モード
		1夕	旦姟雨転口	計面鄉租之



2 [読込] タブー [リストア] グループー
 [現場] をクリックします。



- 3 ローカル現場のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。
- ④ リストア(復元)する現場のチェックをオンにします。
- りストア(復元)先のフォルダーを指定します。
- ⑥ [リストア開始] をクリックします。



リストア(復元)する現場とデータ容量を確認して[はい]をクリックします。

旧形式のリンケニー	タもリストアする(<u>L</u>)	全選択(<u>A</u>)	全解除(<u>K</u>)	現場詳細(<u>I</u>)	
ストア先(E)					-
:¥FCAPP¥TRENE	D-ONE¥TONEData			6	
🎧 バックアップをロ	ーカル現場にリストアします。				_
	D Winのバックアップファイルはリストア対象外	です。		リストア開始	_
	リストア			×	
	リストア現場				
	· 平成30年度				
	…□ サンプル現場				
			1	(#4)(Y)	
	リストア先には、約 43.79 MByteの3	2き容量が必要です	<i>i</i> .		
	処理を続行しますか?			(1072(<u>N</u>)	
					1
	現場管理				
	(二) 現	易データのリストアす	終了しました。		
			<u> </u>		
			ок		
				1	

③ リストア(復元)が終了したら、[OK]をクリックします。

同様の手順で、各クライアント PC でローカル現 場の現場データをリストア(復元)します。

以上で現場データのリストア(復元)は完了 です。

注意 リストア先(復元先)に同名の現場データが存在する場合は 現場データは、バックアップ時の工区と現場名でリストア(復元)されます。 リストア先(復元先)に同名の現場データが存在する場合は、現場名の先頭に「リストア〜」が付加されます。

1-4 バックアップした全設定をリストア(復元)する

バックアップした全設定をリストア(復元)する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

注意 設定が上書きされます

現在の設定はリストア(復元)した設定で上書きされますので、注意してください。

まず、いずれかのクライアント PC1台で、「全設定のリストア(復元)」を行います

バックアップした全設定をサーバーにリストア(復元)します。すべてのクライアントPCで行う必要はありません。

1

ホーム

💊 編集

📑 複写

調え 書込

W

ゴミ箱

メンテナンス

現場作成 聞く

複写

- ① 現場管理の [ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。
- 2 [読込] タブー [リストア] グループー [全設定]をクリックします。
- 工区作成 🙀 削除 ݤ削除 □ リンク 📑 両現場 IΖ 現場 パネル F_M 検索 表示モード 18+8-2 旦级雨新口 計面燐胆夕 🗘 🔤 🛡 現場 ファイル 書込 ♀ ヘルプ・FAQ検索 ホーム 読込 メンテナンス ▲ 各種データ・ 2 AL BTV BTV 現場 BTVデータ 登録済みBTVデータ の一括コンバート リストア 登録

ヘルプ・FAQ検索

□ 作業データ

→現場の抽出表示

🤛 編集 🔹 🗆 現場の情報

現場管理(共同編集あり) - [平成30年度]

🚃 ローカル 現場

- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフ ォルダーを入力します。
- ④ [次へ] をクリックします。

	A					
	🚹 他ユーサ	「一が現場を起動	もしていないことを	確認してから、	実行してくた	さい。
リストア元のドライブ・フォ	ルダーを指定してく	(ださい。				
リストア元(P)						
F:¥						参照(<u>D</u>)
	ONE Vor 2 7 Iu	<i>ゆ</i> あぃプ±わたつ .		त		
	514E VEI.2 (719	17797Ci (ic)7	1000171208	9.		

- ⑤ リストア(復元)する設定のチェックをオンにします。
- 6 [次へ] をクリックします。



・
リストア元のフォルダーとリストア対象の設定を 確認して [実行] をクリックします。 リストア(復元)が開始されます。

設定のリストア		? >
[実行] ボタンで全設定のリストアを開始します。 リストア元 	条件設定 アプリケーション条件設定 CAD関連 座標・地番関連 プロット条件 路線・縦横断関連 各階平面回関連	
P:* TREND-ONE Ver.2 でバックアップされたファイルが指定され ています。	名解平面回達物部品 申請書辞書 別量士大辞書 フリーフォーマット プレットマーク 構造病理運断面 シンボル 方位マーク パラメトック SXF属性セット ローカル設定 構造物数量マスター CAO閣選(ローカル) DM記号 DMマスター 違物野帳 レジストリ	

⑧ リストア(復元)が終了したら、[OK]をクリック します。



🤮 [閉じる]をクリックします。

以上で全設定のリストア(復元)は完了です。

次に、残りのクライアント PC で、「レジストリのリストア(復元)」を行います 各クライアントPCでバックアップした全設定から、「レジストリ」のみ選択してリストア(復元)します。

- 現場管理の [ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。
- 2 現場管理の [読込] タブ− [リストア] グル −プ− [全設定] をクリックします。



- ③ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを入力します。
- ④ [次へ] をクリックします。



- ❺ [全解除] をクリックします。
- リストア対象で「レジストリ」のみチェックをオンにします。
- 🕜 [次へ] をクリックします。

3 リストア元のフォルダーとリストア対象を確認して 全設定のリストア ? \times [実行]をクリックします。 レジストリ [実行] ボタンで全設定のリストアを開始します。 リストア(復元)が開始されます。 リストア元 F:¥ TREND-ONE Ver.2 でバックアップされたファイルが指定されています。 8 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) 実行 キャンセル ● リストア(復元)が終了したら、[OK]を 現場管理 クリックします。 全設定のリストアを終了しました 10 [閉じる] をクリックします。 レジストリ [実行] ボタンで全設定のリストアを開始します。 同様の手順で、各クライアント PC でレジストリの リストア元 リストア(復元)を行います。 F:¥ TREND-ONE Ver.2 でバックアップされたファイルが指定されています。 以上で全設定のリストア(復元)は完了です。 100 % 10

戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) 実行

閉じる

[補足] バックアップツールでバックアップするには

TREND-ONE、Mercury-ONEを [共同編集あり] でインストールしている場合、サーバーマシンに「バックアップツール」が 作成されます。

このツールで**サーバー現場のバックアップ**ができます。

「バックアップツール」でサーバー現場をバックアップする手順を説明します。 ※ ここでは、TREND-ONEで解説します。

「サーバー現場データのバックアップ」は、<u>サーバー</u>でおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。





